ガイヨウ

確認試験，純度試験の項を次のように改める．

確認試験　本品の粉末(粉砕時に粉末とならない綿毛などは取り除くことができる)0.5gにメタノール／水混液(3：2)5mLを加え，10 分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を試料溶液とする．別に薄層クロマトグラフィー用ウンベリフェロン 1mg及び薄層クロマトグラフィー用スコポレチン 1mgをそれぞれメタノール 10mLに溶かし，標準溶液(1)及び標準溶液(2)とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液 10μL，標準溶液(1)及び標準溶液(2)5μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に酢酸エチル／ヘキサン／酢酸(100)混液(20：10：1)を展開溶媒として約 7cm展開した後，薄層板を風乾する．これに紫外線(主波長 365nm)を照射するとき，試料溶液から得た数個のスポットのうち 2 個のスポットは，標準溶液(1)及び標準溶液(2)から得た青白色の蛍光を発するスポットと色調及びR_f値が等しい．

純度試験　アルテミシア・アルギイ　本品の粉末 0.5gにメタノール／水混液(3：2)5mLを加え，10 分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を試料溶液とする．別に純度試験用アルテミシア・アルギイ 0.5gにメタノール／水混液(3：2)5mLを加え，10 分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液及び標準溶液 10μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に酢酸エチル／ヘキサン／酢酸(100)混液(20：10：1)を展開溶媒として約 7cm展開した後，薄層板を風乾する．これに希硫酸を均等に噴霧し，105℃で 5 分間加熱した後，紫外線(主波長 365nm)を照射するとき，標準溶液から得た緑色の蛍光を発するスポット(R_f値 0.5 付近)と等しい位置に試料溶液ではスポットを認めない．

9．41 試薬･試液のアルテミシア･アルギイ，純度試験用の項を次のように改める．

アルテミシア･アルギイ，純度試験用　本品は *Artemisia argyi* H. Léveillé et Vaniot の葉及び枝先を粉末にしたものである．

確認試験　本品 0.5gにメタノール／水混液(3：2)5mLを加え，10 分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を試料溶液とする．この液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液 10μLを薄層クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次にメタノール／水混液(4：1)を展開溶媒として約 7cm展開した後，薄層板を風乾する．これに希硫酸を均等に噴霧し，105℃で 5 分間加熱した後，紫外線(主波長 365nm)を照射するとき，R_f値 0.3 及び 0.4 付近にそれぞれ緑色の蛍光を発するスポットを認める(オイパチリン及びジャセオシジン)．